

## ISO 4768 抗バイオフィーム試験方法

この規格は、抗バイオフィーム加工されたプラスチック製品及びその他の非多孔質表面（繊維製品や光触媒加工製品は除く）における抗バイオフィーム活性を評価する方法について規定したものです。

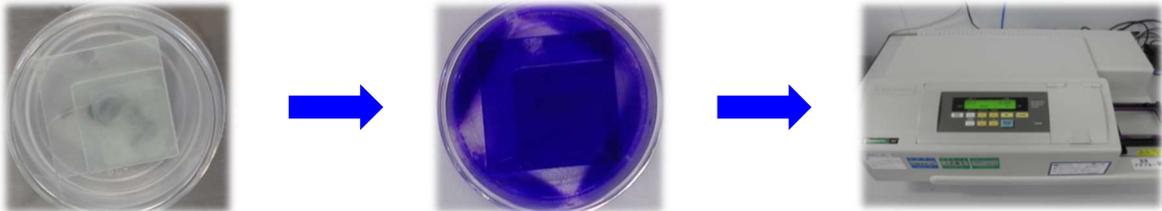
### 試験概要

- ・ 試験菌：*Staphylococcus epidermidis*（表皮ブドウ球菌）
- ・ 試験菌液：1/5 SCD ブイヨン培地で試験菌液を調製（ $10^3$ /mL）
- ・ 試験片：滅菌処理された 3 cm×3 cm の検体（加工品及び無加工品）
- ・ 試験片の設置：4 cm×4 cm のガラス板に試験片を接着し、試験菌液（20mL）に浸漬
- ・ 試験片の培養：35 °C，48 時間静置状態にて培養
- ・ バイオフィームの染色：試験片を取り出し、水洗，クリスタルバイオレットにて染色，再度水洗を行い，水溶性不織布を用いて試験面上のバイオフィームを回収
- ・ 吸光度測定：回収後，水溶性不織布を SDS 溶液に溶解し，590 nm の波長で吸光度を測定
- ・ 抗バイオフィーム活性値(R, %)の算出： $R = (1 - W_{\text{treated}}/W_{\text{untreated}}) \times 100$

$W_{\text{treated}}$ ：48 時間保存した後の加工品の吸光度の平均値

$W_{\text{untreated}}$ ：48 時間保存した後の無加工品の吸光度の平均値

※試験成立条件：試験片を培養した後の試験菌液中の生菌数が一定数( $10^6$ /mL 以上)増殖



抗バイオフィーム活性値(R, %)の値が大きいほど，加工品への試験菌によるバイオフィーム付着形成量が無加工品に比べ抑制されたことを示します。

### 価格（税別）

お問い合わせください。

### 検体必要量

加工品：3 cm×3 cm（5 mm 以下）の大きさに 10 枚以上

無加工品：3 cm×3 cm（5 mm 以下）の大きさに 10 枚以上

### 納期（目安）

1～1.5 箇月

依頼状況や長期祝日の影響で変動する場合がございますので，ご依頼のタイミングで改めてご確認ください。